

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	家庭 家庭基礎		単位数	2 単位	履修学年	3 年
目標	生活者としての自己認識と生活に関する科学的認識を基礎として、生活課題を主体的に解決し、現在および将来の生活を充実向上することのできる資質・能力を育成する。					
使用教材	教科書：「新家庭基礎」未来へつなぐパートナーシップ（実教出版）					
評価の観点・評価規準	（関心・意欲・態度）	（思考・判断）	（技能・表現）	（知識・理解）		
	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的・実践的な態度を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題の解決を目指して、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活産業の社会的な意義や役割を理解している。		
評価方法	関心・意欲・態度を総合的に判断して評価します。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	1. 人はなぜ衣服を着るのか 2. 衣服は何からできているのか 3. 健康的で快適な衣生活をつくる			被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と被服実習により技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。		
2	1. 自分を見つめる 2. パートナーと出会う 3. 家族って何だろう 4. 家族と法律			生涯発達の視点で各ライフステージの特徴と課題について理解させ、青年期の課題を踏まえて、男女が協力して家族を築くことの意義と家族や家庭生活の在り方について考えさせる。		
3	1. 子どもを知る 2. 発達のすばらしさ 3. 子どもの生活 4. 親になることを考えよう			乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育及び子どもの福祉について理解させ、子どもを生ま育てることの意義を考えさせるとともに子どもの健全な発達のために、親や家族及び社会の果たす役割が重要であることを認識させる。		
学習上の留意点	本校では、家庭基礎を2年、3年の2年間かけて行います。実習もあるので積極的に参加するように心がけてください。					